

自己中心（ジコチュー）から意味中心（イミチュー）へ （第12回～第23回）

草野智洋

私は2024年4月から日本教職員組合の会報誌『月間JTU』で「自己中心（ジコチュー）から意味中心（イミチュー）へ」と題したコラムを連載しています。昨年のロゴセラピスト協会論集（第17号）には、第1回（2024年4月号）から第11回（2025年2月号）までの分を転載させていただきました。今回は第12回（2025年3月号）から第23回（2026年2月号）までの分を転載いたします。なお、『月間JTU』に掲載された版とは一部漢字表記等が異なる場合があります。ご了承ください。

第12回：人生の3つの価値② 体験価値

今回は人生の3つの価値の2つめ、「体験価値」をご紹介します。「体験価値」とは、自然や芸術に触れる体験や、愛情や友情など、人との心の触れ合いの体験によって得られる価値です。何かを産み出す「創造」だけでなく、こうした「体験」によっても、人生を意味あるものにすることができます。

生産的であることや何かの役に立つことばかりが求められる現代社会で生きる私たちは、創造価値の重要性は意識していても、体験価値の重要性を忘れがちではないでしょうか。前回・前々回で挙げた創造価値の例は、誰が聞いても意味のありそうなことばかりでした。それに対して、体験価値の例を挙げてみましょう。ひなたぼっこをする。空や海を眺める。